



組立の目安
15分～

RFPC ブース 2 W800×D600 組立説明書

RFPCB2-8060NA (WH) -1 (2), RFPCB2-8060ADNA (WH)

(1) 基本 3～5 ページ	(2) 基本 + 増連 6～10 ページ	(3) 後日増連 11～15 ページ
この商品は2つに分けて梱包されています。 梱包 1...RFPCB2-8060NA (WH)-1 梱包 2...RFPCB2-8060NA (WH)-2		(1) 基本 に後日追加で増連

部材一覧

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は部品名をご連絡ください。

基本			
① 左側板 ×1 内面のみにナットがあります 梱包 1	② 右側板 ×1 内側のみにナットがあります 梱包 1	③ 天板 ×1 裏 木ダボが取付済み 梱包 2	④ 幕板 ×1 裏 梱包 2
⑤ 背板 ×1 裏 表 梱包 2	⑥ 貫板 ×1 木ダボが取付済み 裏 表 梱包 2	⑦ ジョイントシャフト ×16 ⑧ジョイントシャフトには下図の3種類 (1)～(3) がございますが、全て互換性を有しており機能に違いはありません。 (1) (2) (3) 梱包 2	⑧ カムロック キャップ ×12 梱包 2
増連 1 台分			
① 増連側板 ×1 左右両面にナットがあります 上 下 右面 左面	② 増連天板 ×1 裏 木ダボが取付済み	③ 増連幕板 ×1 裏	④ 増連貫板 ×1 木ダボが取付済み 裏 表
⑤ 増連背板 ×1 裏 表	⑥ 増連貫板 ×1 木ダボが取付済み 裏 表	⑦ 増連ジョイントシャフト ×16 ⑧ジョイントシャフトには下図の3種類 (1)～(3) がございますが、全て互換性を有しており機能に違いはありません。 (1) (2) (3)	⑧ 増連カムロック キャップ ×12

重要

ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。

商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

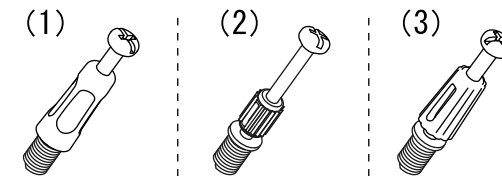


最後まで締まっていない
抜けや歪みの原因
となります。

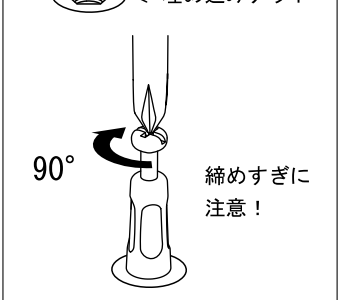
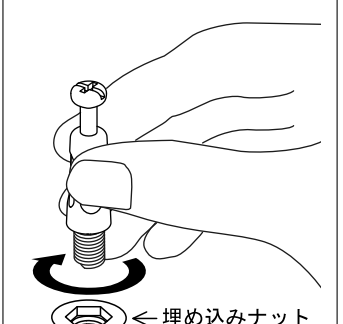


締めすぎ

ジョイントシャフト や
埋め込みナットが
破損 する恐れがあります。



手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



2. ジョイントシャフトの挿入

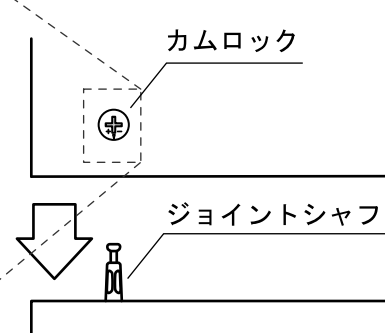
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには＋
又は▲矢印もしくは
その両方が刻印され
ています。

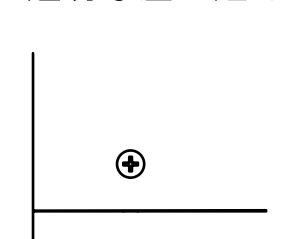


この印をジョイント
シャフト側に向けて
差し込んでください。

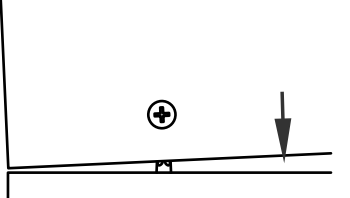
取り付ける板面を平行に持ち、
垂直に真っ直ぐ差し込みます。



適切な差し込み

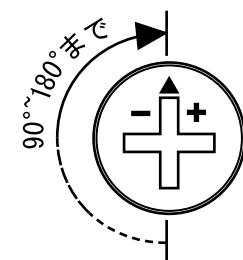
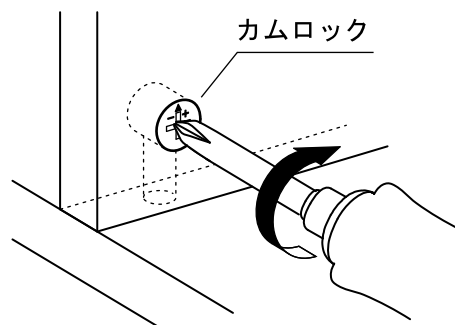


隙間が空いている
正常に固定できません。

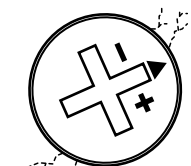


3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



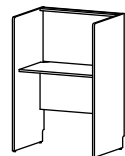
正常な締結



締めすぎ

無理に回すと破損の
原因となります

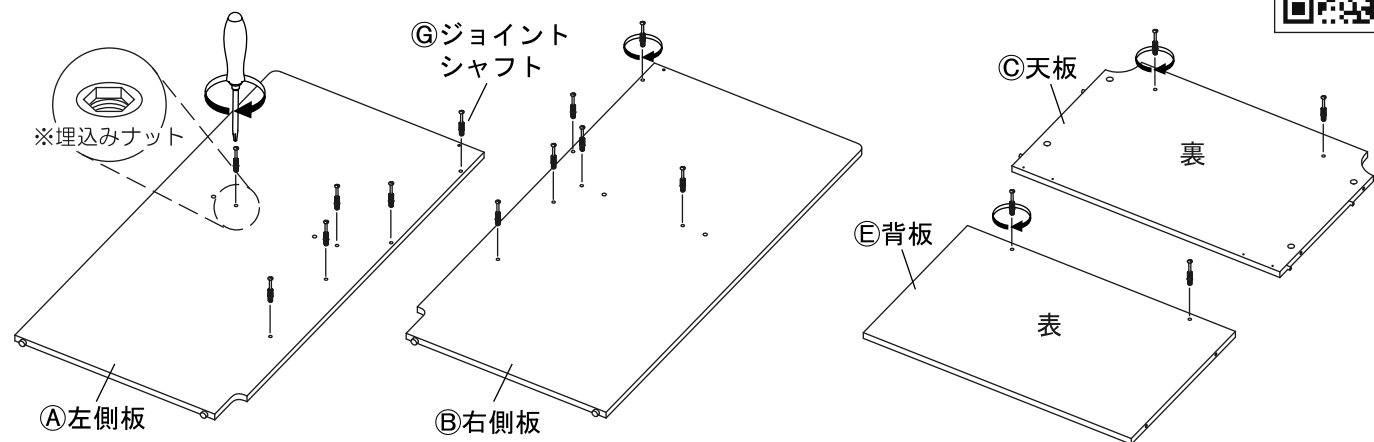
(1) 基本



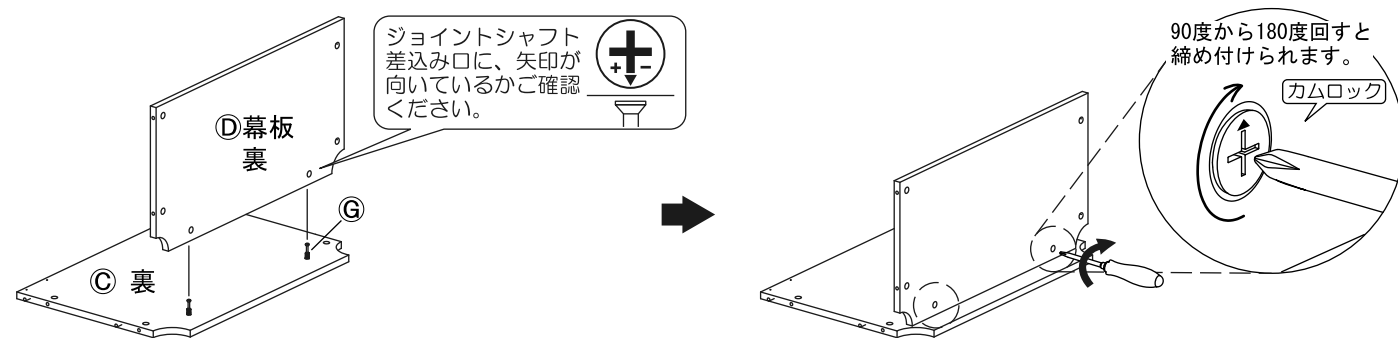
基本

部材一覧の「基本」を
ご参照ください。

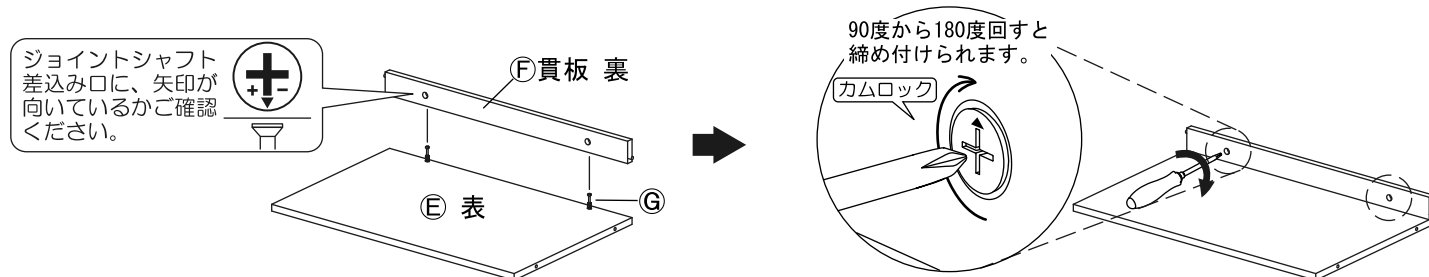
- 1** ①左側板・②右側板・③天板・④背板に⑤ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



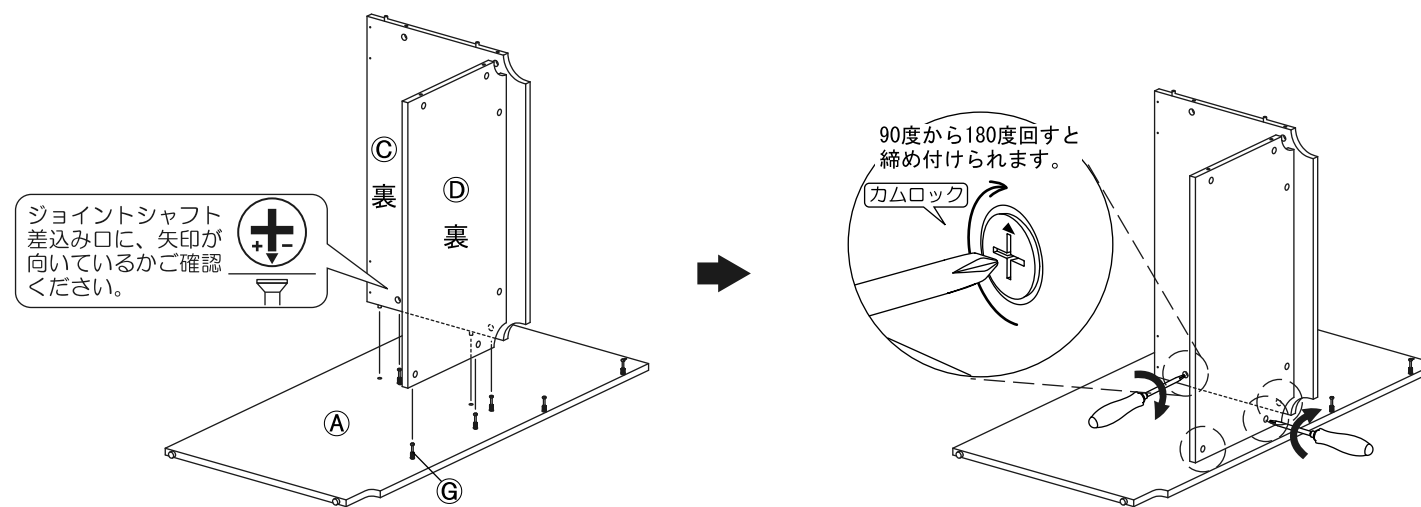
- 2** ③天板の⑤ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。
その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



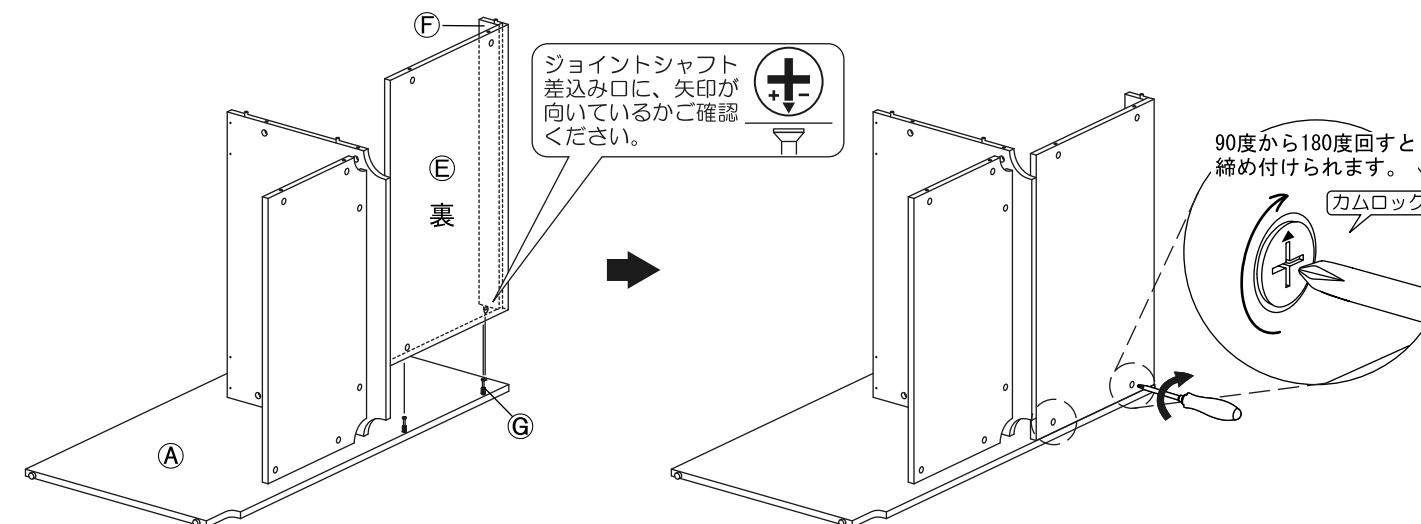
- 3** ④背板の⑤ジョイントシャフトを⑥貫板の横穴に差し込みます。
その後、⑥貫板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



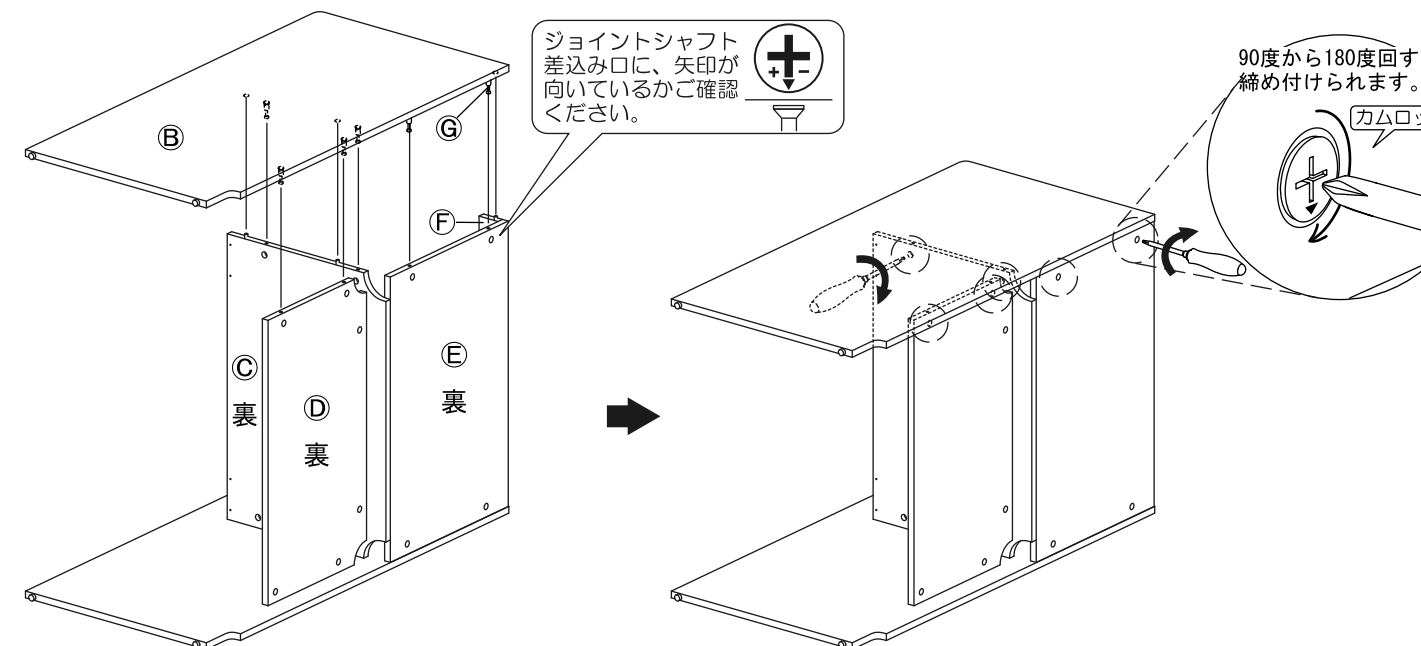
- 4** ①左側板の⑤ジョイントシャフトを②で組み付けた③天板・④幕板の横穴に差し込みます。
その後、③天板・④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 5** ①左側板の⑤ジョイントシャフトを③で組み付けた④背板の横穴に差し込みます。
その後、④背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

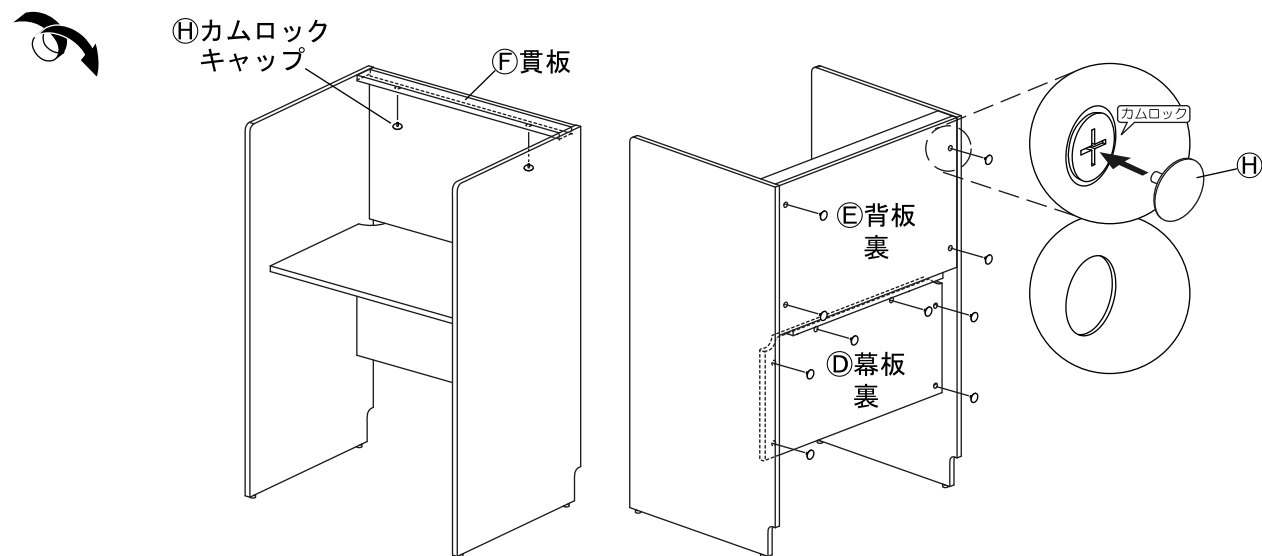


- 6** ②右側板の⑤ジョイントシャフトを⑤で組み付けた③天板・④幕板・④背板の横穴に差し込みます。
その後、③天板・④幕板・④背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

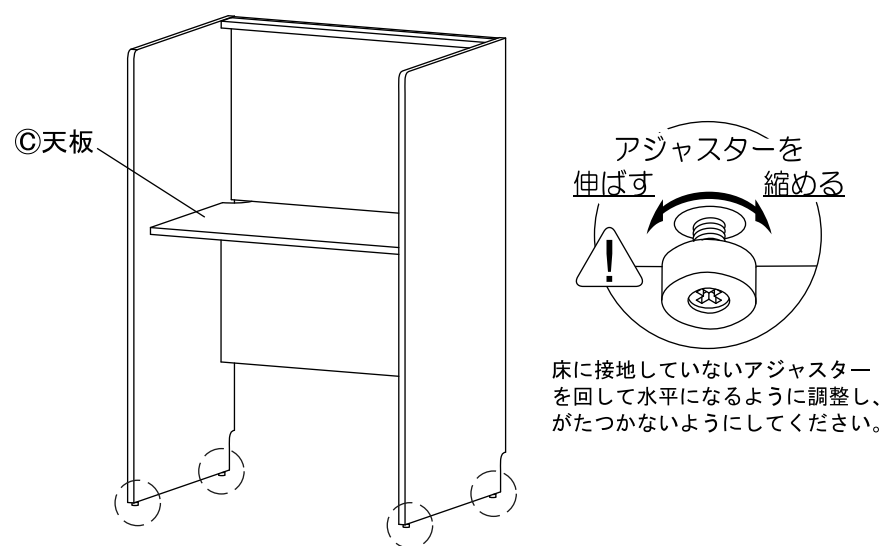


(1) 基本 組立説明書

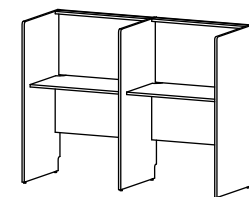
- 7 全てのカムロックが締め付けられていることを確認し、2人以上で慎重に起こしてください。
その後、⑩幕板・⑪背板・⑫貫板に⑬カムロックキャップを差し込んでください。



- 8 ⑬天板と床が水平になるようにアジャスターを調整してください。

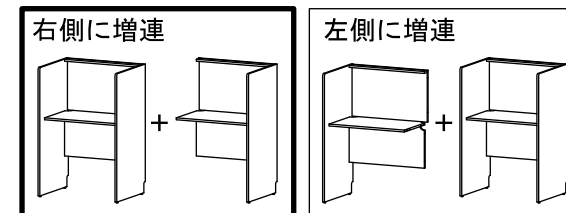


(2) 基本+増連



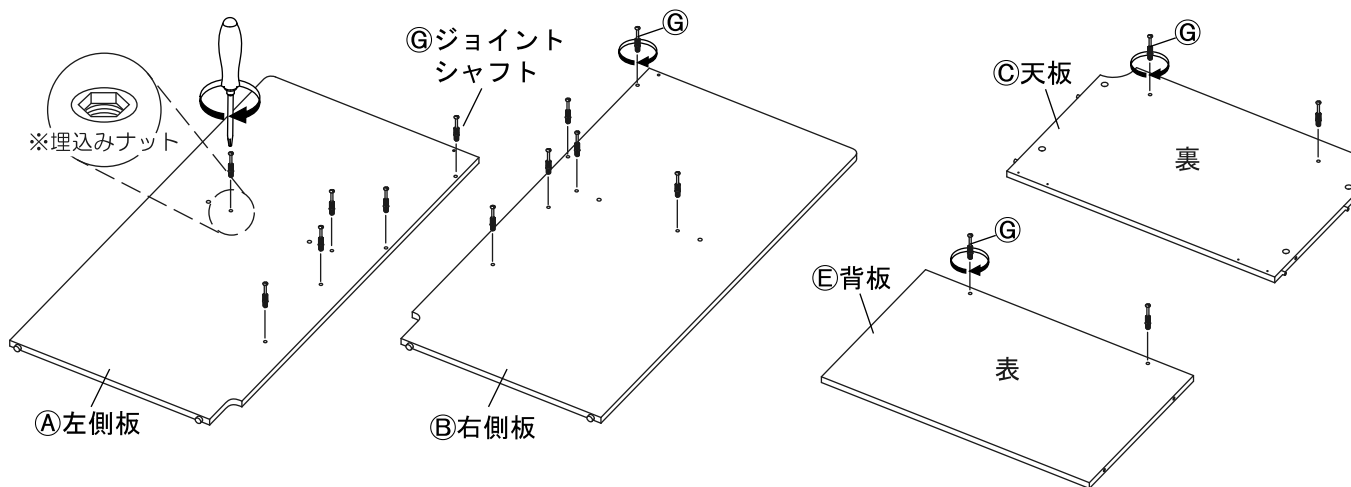
基本+増連

梱包が複数に分かれています。
部材一覧の「基本」と「増連1台分」
をご参照ください。



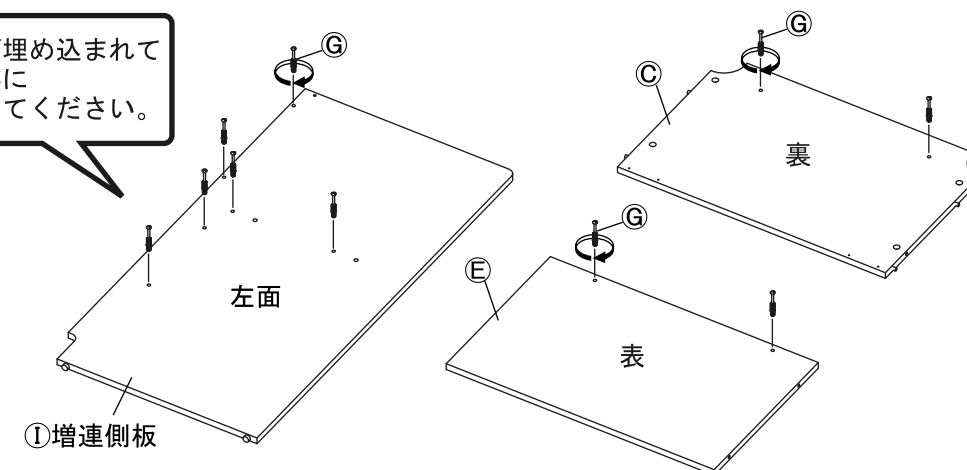
以下では右側に増連させる組み立て説明を行います
ますが、同様に左側にも増連が可能です。

- 1 ①左側板・②右側板・③増連側板・④天板・⑤背板に⑥ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

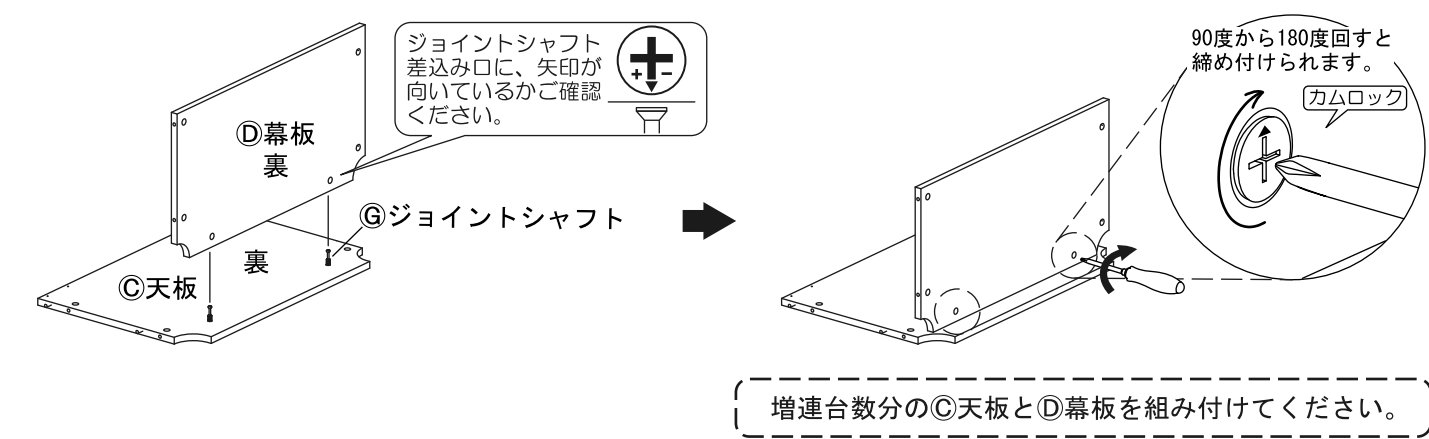


複数台増連する場合は、増連台数分の④天板・⑤背板・
③増連側板に⑥ジョイントシャフトを回し入れてください。

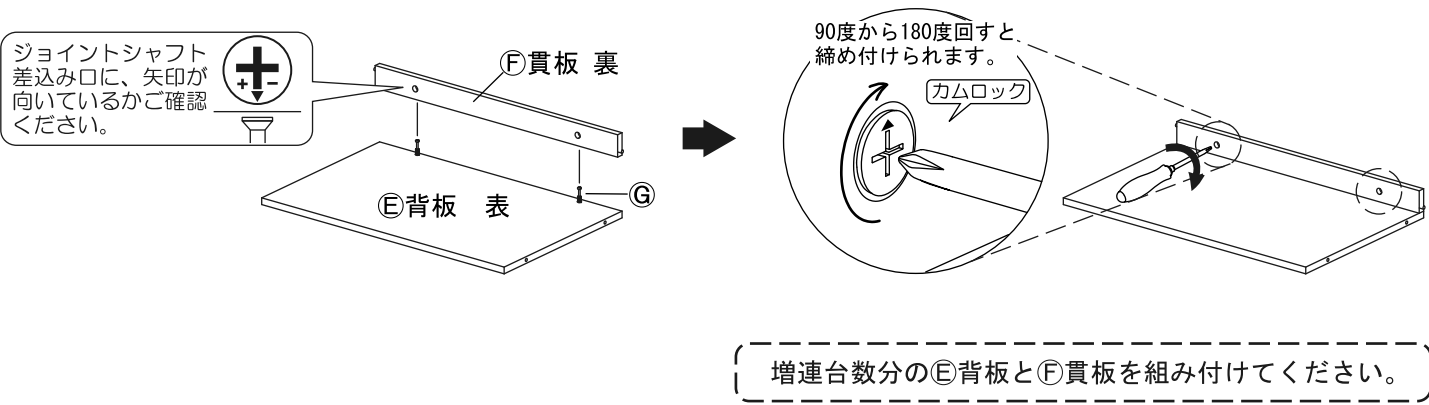
③増連側板は左右両面にナットが埋め込まれて
いますが、この工程では左面のみに
⑥ジョイントシャフトを取り付けてください。



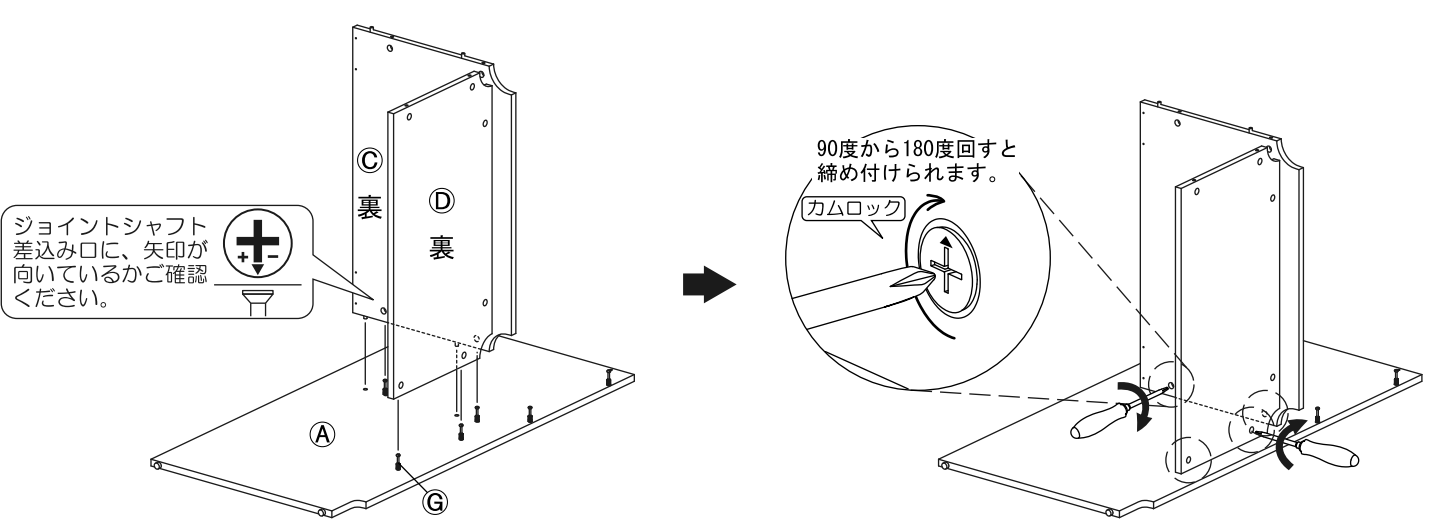
2 ③天板の④ジョイントシャフトを①幕板の横穴に差し込みます。
その後、①幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



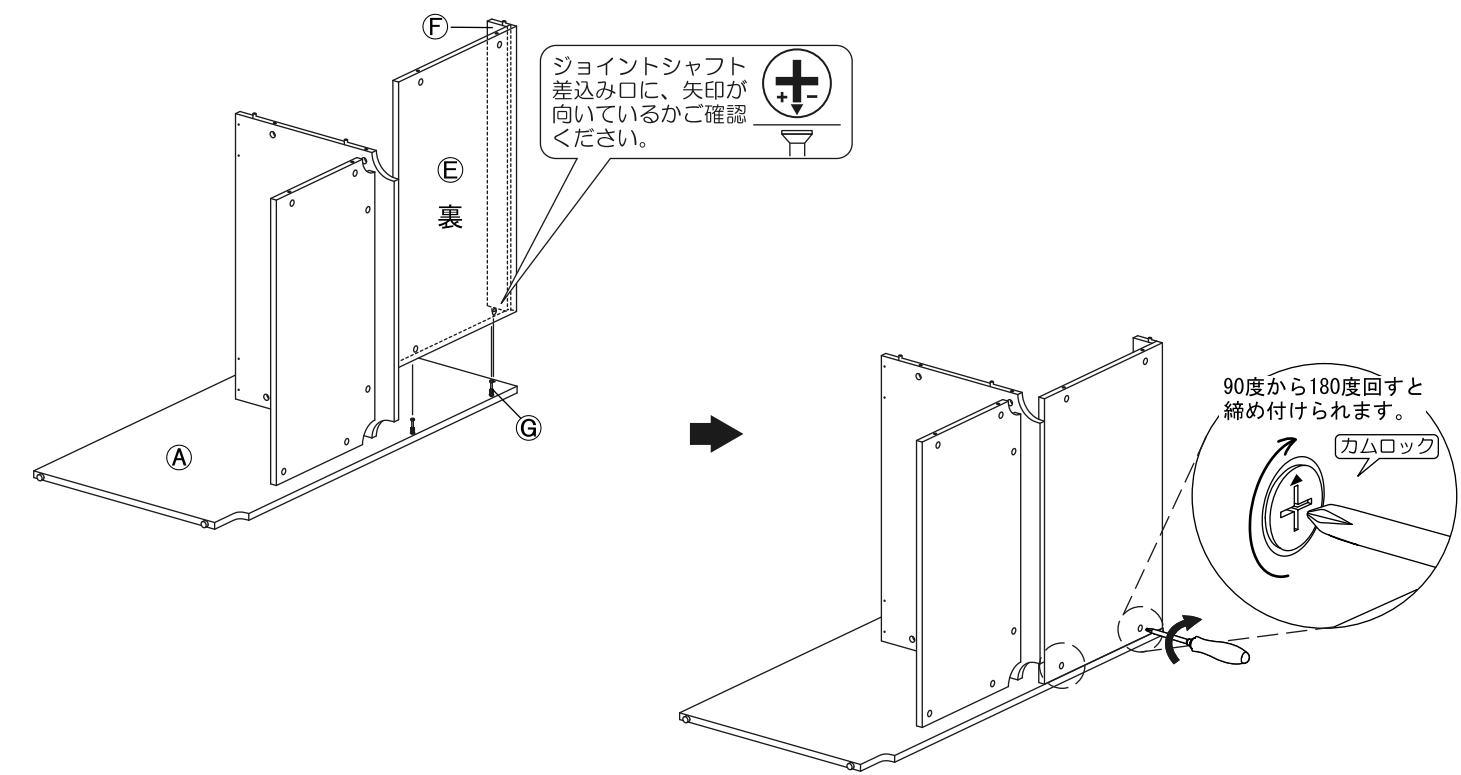
3 ⑤背板の④ジョイントシャフトを⑥貫板の横穴に差し込みます。
その後、⑥貫板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



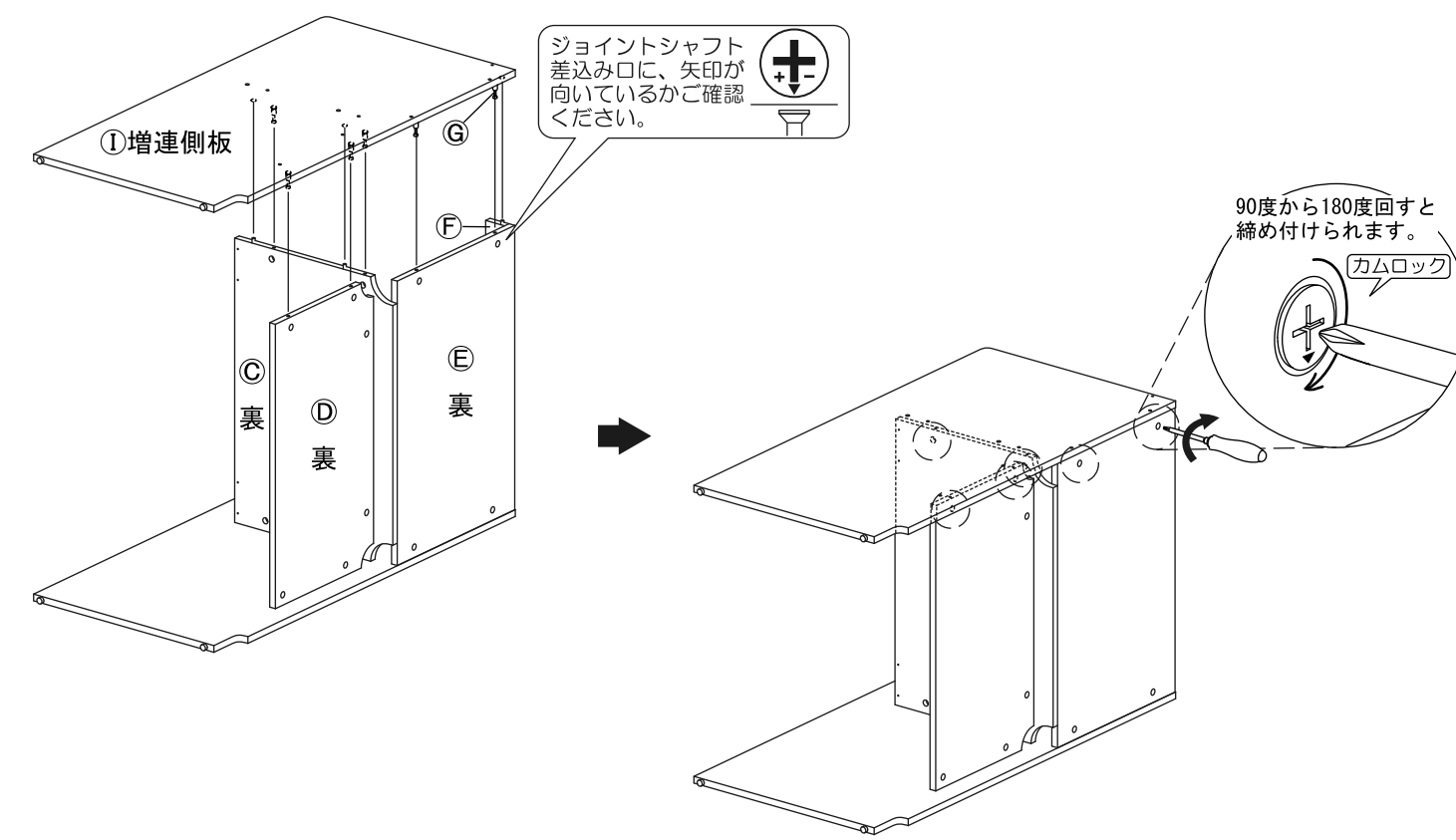
4 ①左側板の④ジョイントシャフトを 2で組み付けた③天板・①幕板の横穴に差し込みます。
その後、③天板・①幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



5 ①左側板の④ジョイントシャフトを 3で組み付けた⑤背板の横穴に差し込みます。
その後、⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

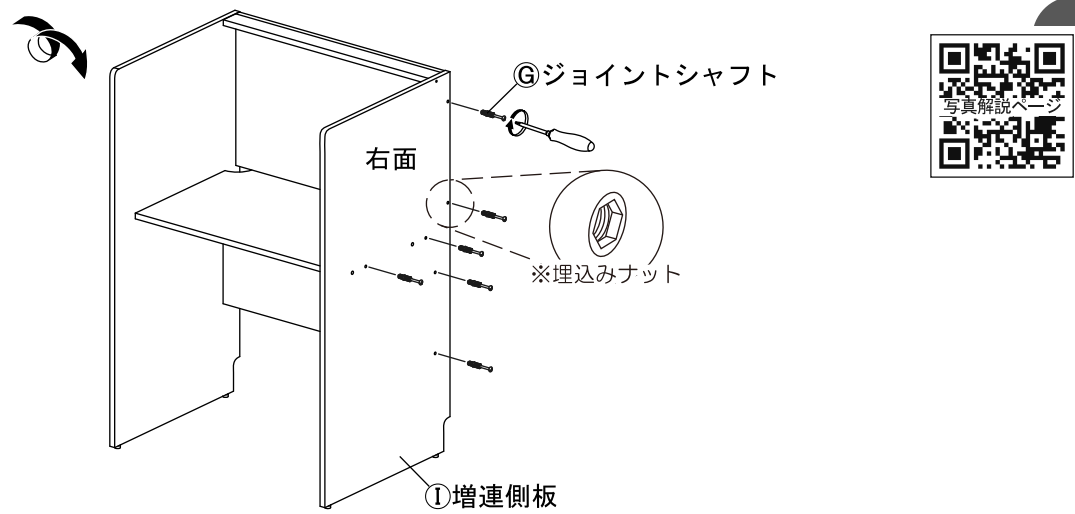


6 ①増連側板の④ジョイントシャフトを 5で組み付けた③天板・①幕板・⑤背板の横穴に差し込みます。
その後、③天板・①幕板・⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

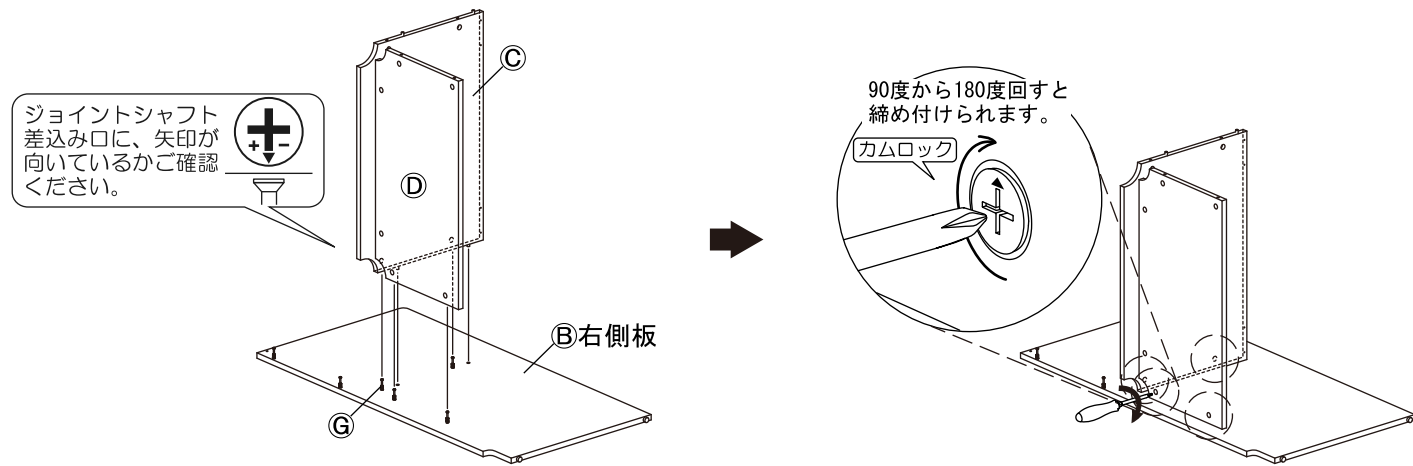


(2) 基本 + 増連 組立説明書

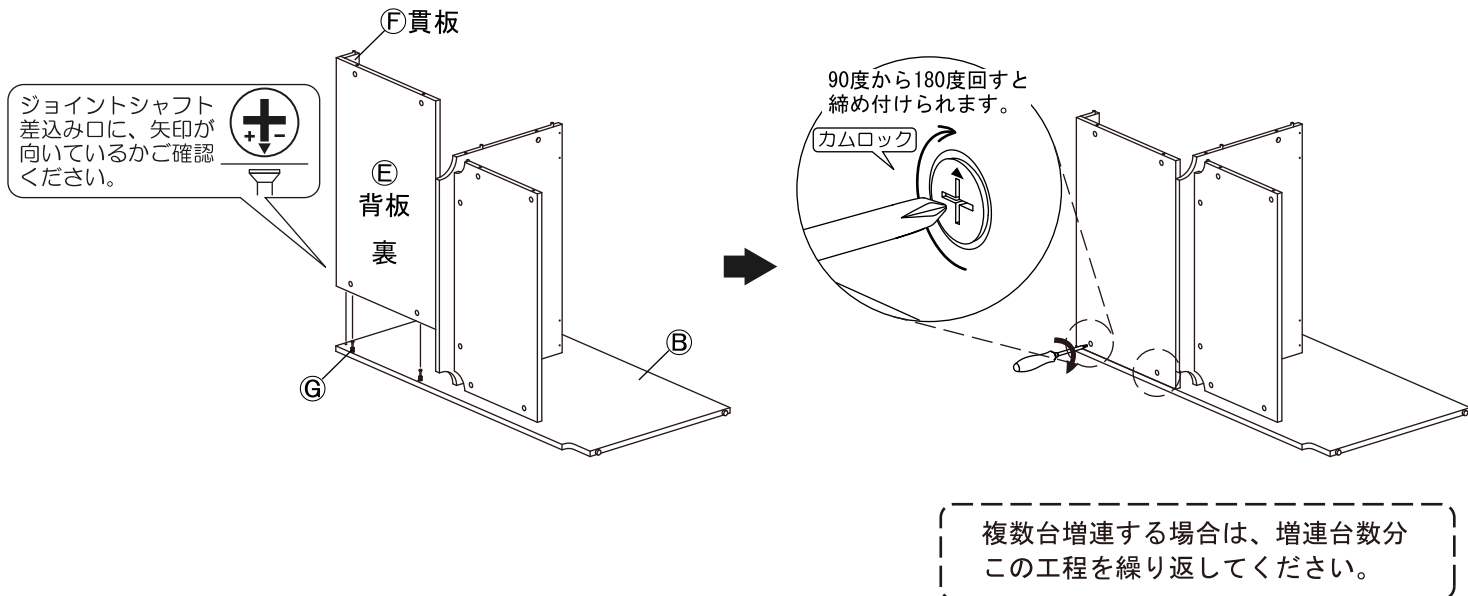
7 2人以上で慎重に本体を起こしてください。その後、①増連側板の右面に⑥ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



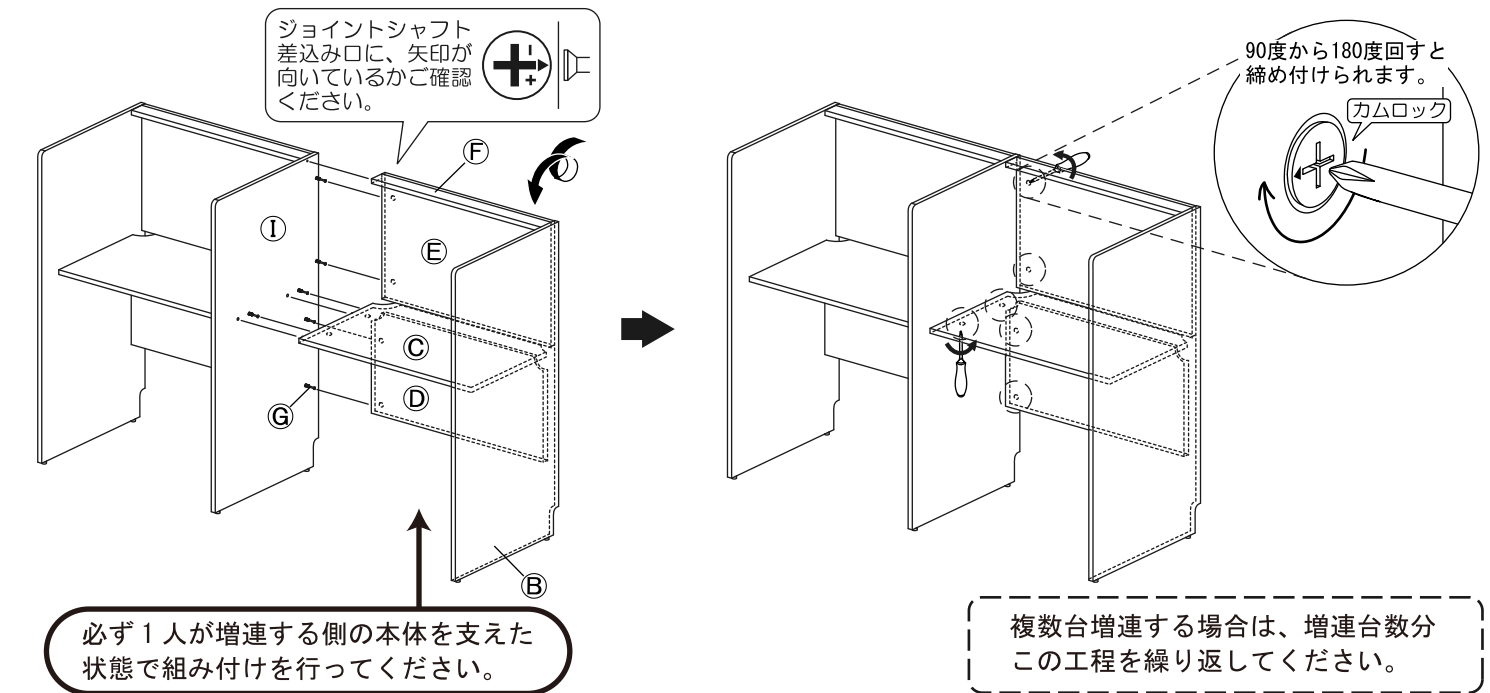
8 ⑧右側板の⑥ジョイントシャフトを②で組み付けた③天板・④幕板の横穴に差し込み、
③天板・④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



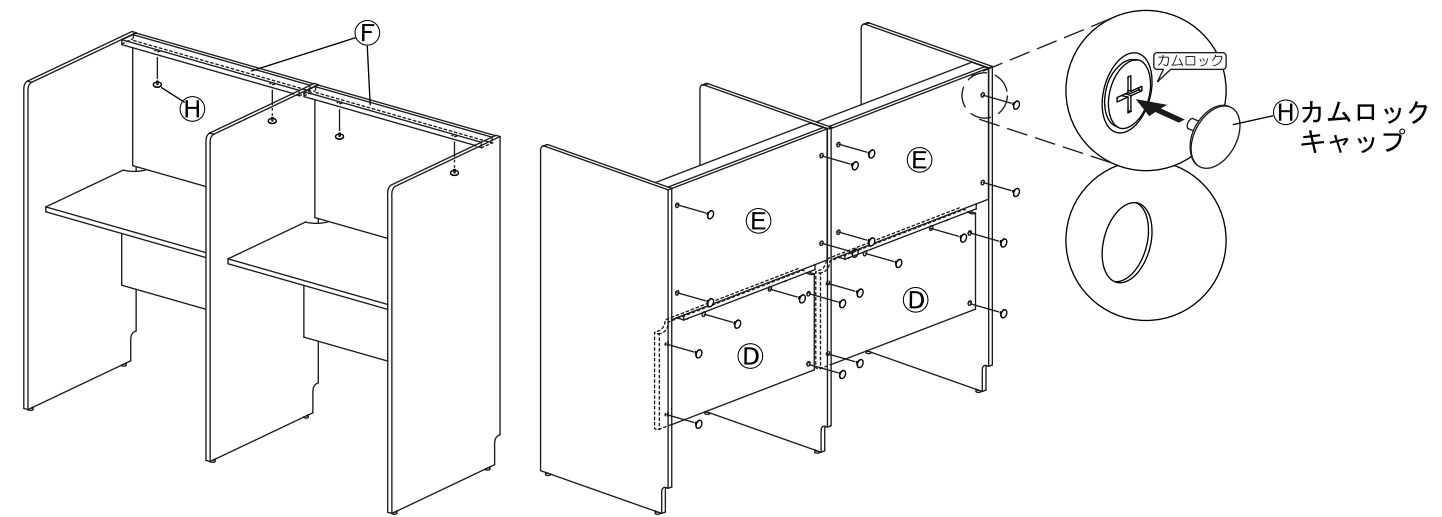
9 ⑧右側板の⑥ジョイントシャフトを③で組み付けた⑤背板の横穴に差し込み、
⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



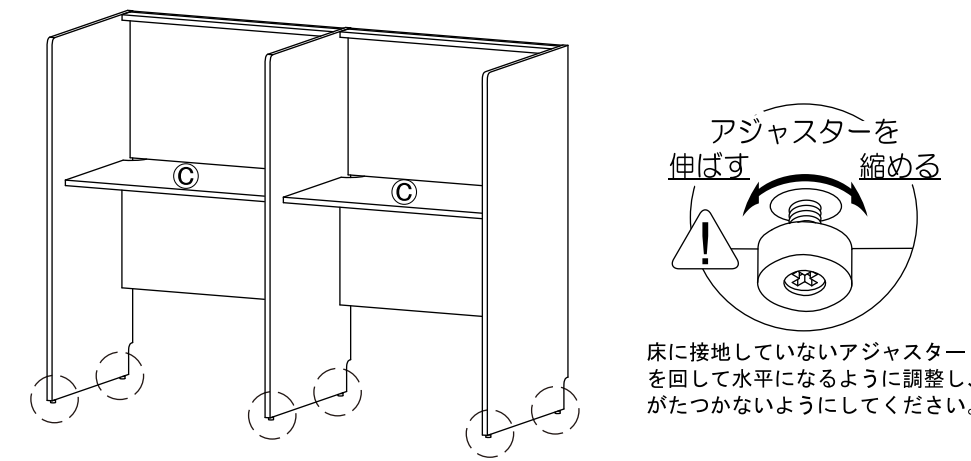
10 ①増連側板の⑥ジョイントシャフトを⑨で組み付けた③天板・④幕板・⑤背板の横穴に差し込み、
⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



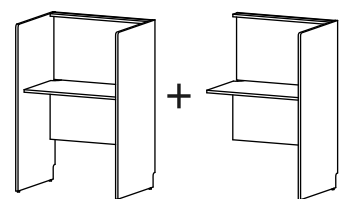
11 全てのカムロックが締め付けられていることを確認し、④幕板・⑤背板・⑥貫板に
⑧カムロックキャップを差し込んでください。



12 傾斜のない平らな場所に設置してください。
③天板が床と水平になるようにアジャスターを回して調整してください。

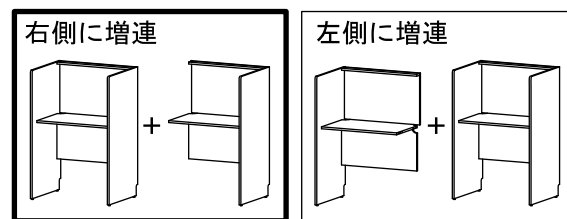


(3) 後日増連



基本+増連

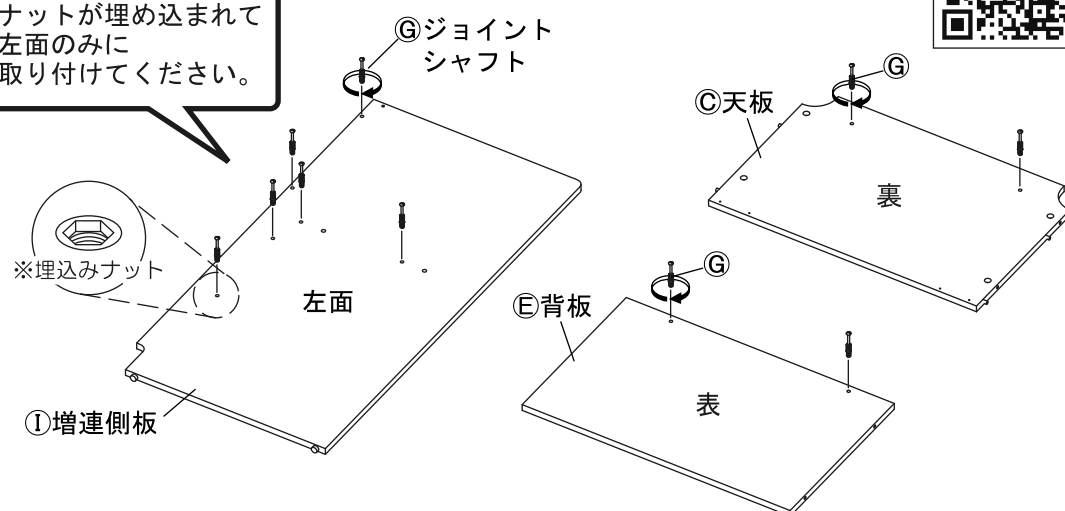
梱包が複数に分かれています。
部材一覧の「基本」と「増連1台分」
をご参照ください。



以下では右側に増連させる組み立て説明を行いますが、同様に左側にも増連が可能です。

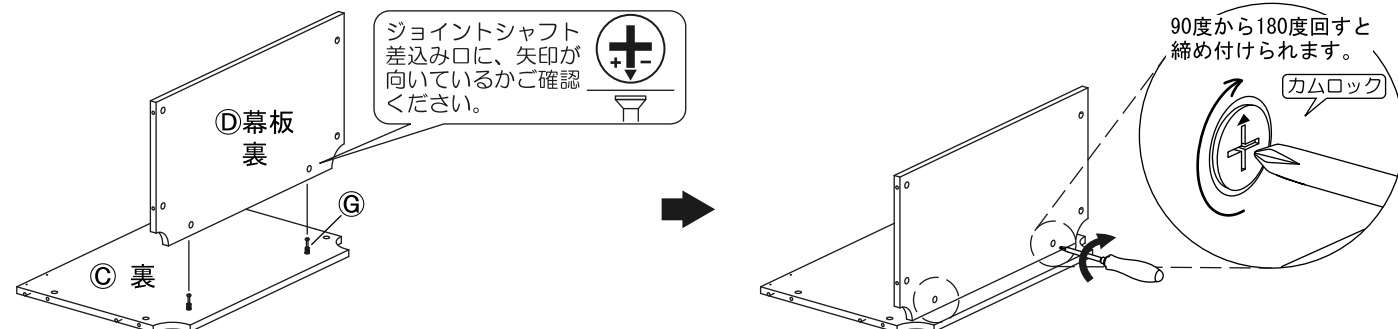
- 1 ①増連側板・③天板・⑤背板に④ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

①増連側板は左右両面にナットが埋め込まれていますが、この工程では左面のみに
④ジョイントシャフトを取り付けてください。



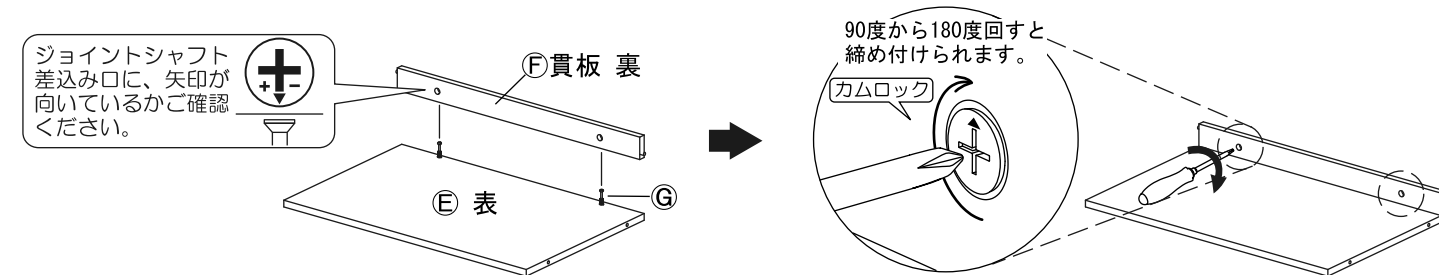
増連台数分の③天板・⑤背板・①増連側板に
④ジョイントシャフトを取り付けてください。

- 2 ③天板の④ジョイントシャフトを⑥幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



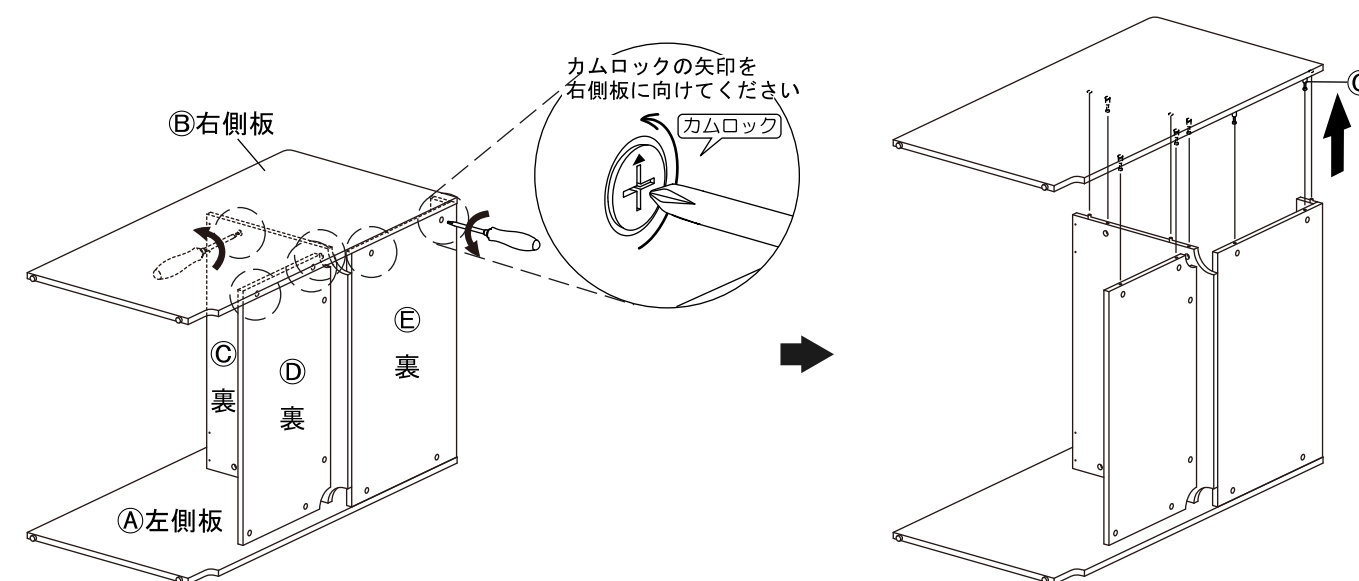
増連台数分の③天板と⑥幕板を組み付けてください。

- 3 ⑤背板の④ジョイントシャフトを⑦貫板の横穴に差し込みます。
その後、⑦貫板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

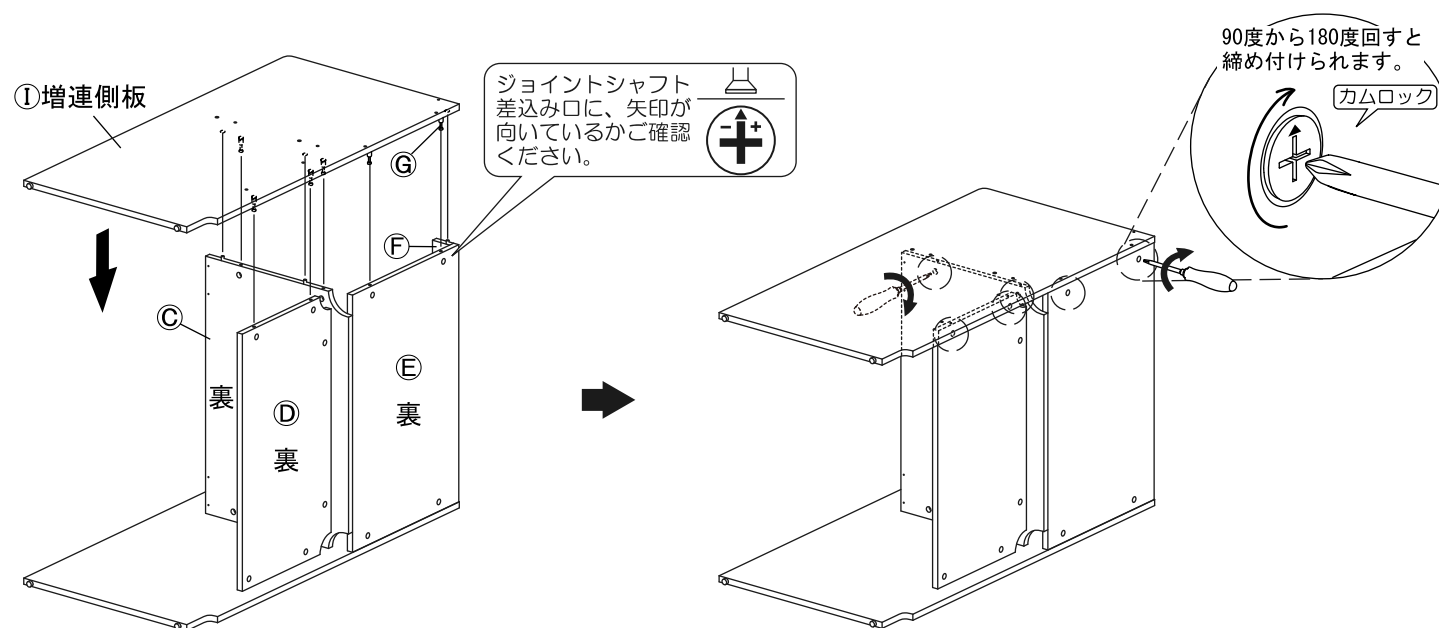


増連台数分の⑤背板と⑦貫板を組み付けてください。

- 4 (1) 基本で組み上げた本体の⑨左側板が下になるように、2人以上で慎重に倒します。
③天板・⑥幕板・⑤背板の図の位置のカムロックの矢印を⑧右側板に向けると、カムロックの締め付けが解除できます。
⑧右側板を垂直に持ち上げ、⑧右側板の④ジョイントシャフトを③天板・⑥幕板・⑤背板から引き抜いてください。

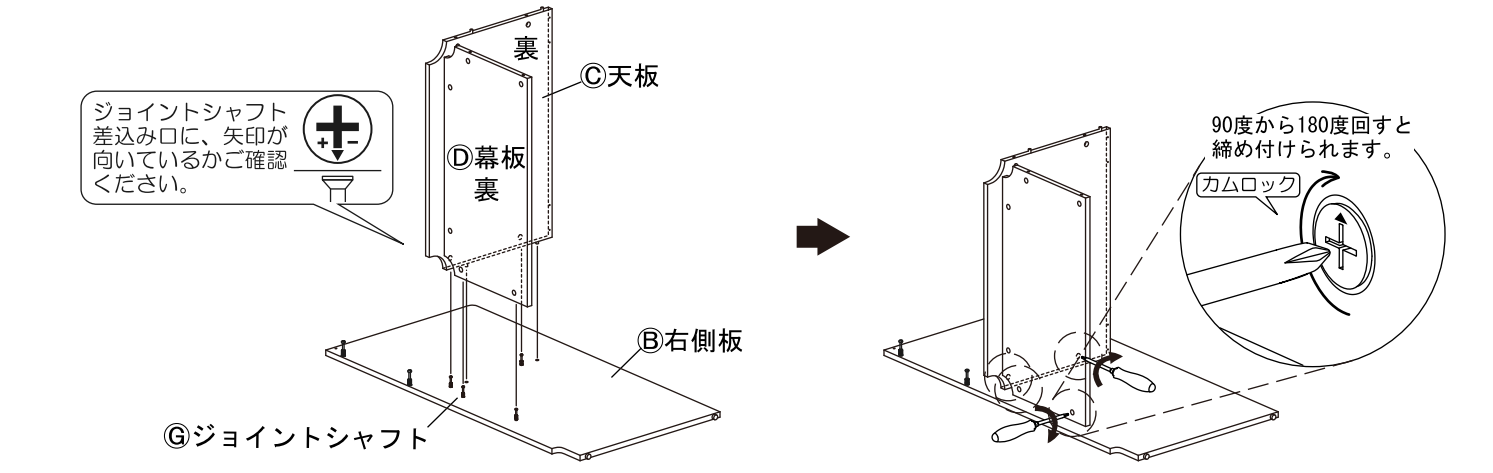


- 5 ①増連側板の④ジョイントシャフトを、4で⑧右側板を取り外した③天板・⑥幕板・⑤背板の横穴に差し込みます。
その後、③天板・⑥幕板・⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

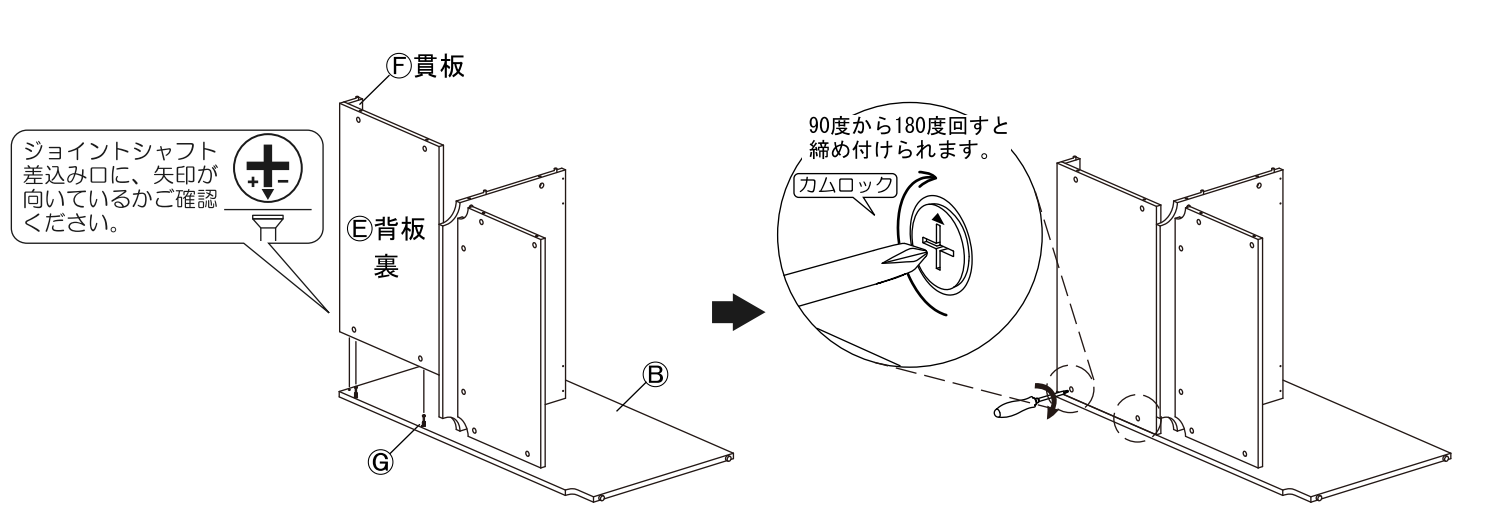


(3) 後日増連 組立説明書

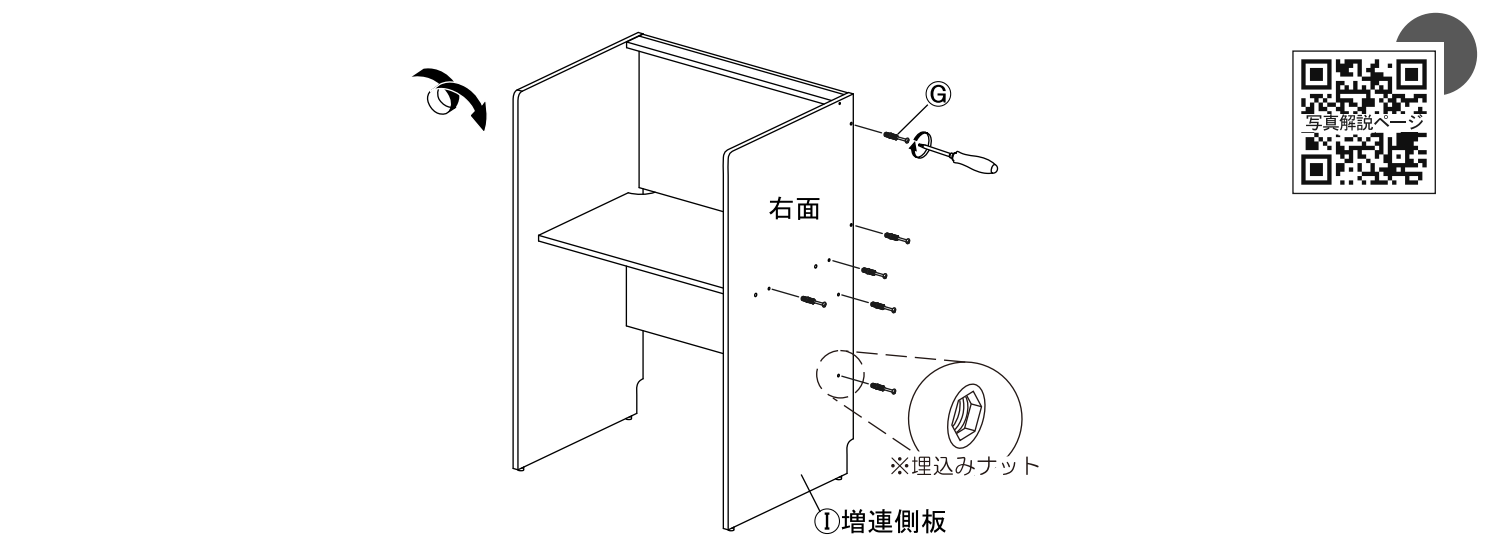
6 **4** で取り外した**⑧**右側板の**⑥**ジョイントシャフトを**2** で組み付けた**③**天板・**④**幕板の横穴に差し込み、**③**天板・**④**幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



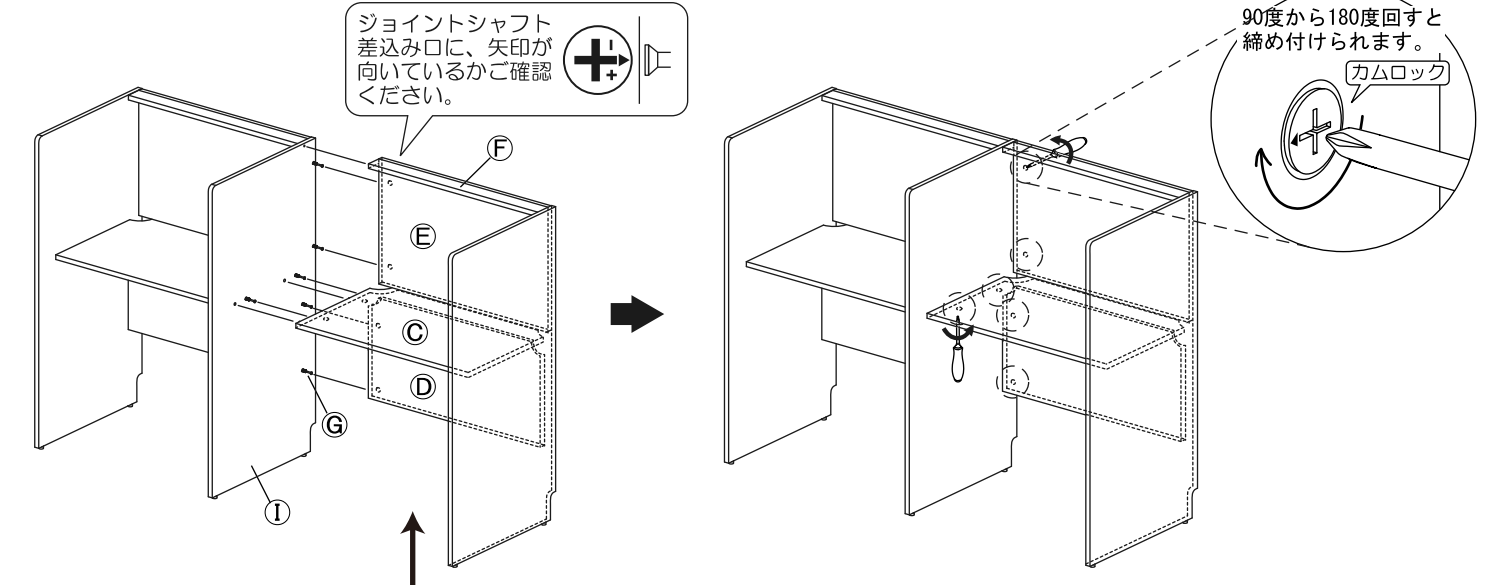
7 **⑧**右側板の**⑥**ジョイントシャフトを**3** で組み付けた**⑤**背板・**⑥**貫板の横穴に差し込み、**⑤**背板・**⑥**貫板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



8 2人以上で慎重に**5** で組み付けた本体を起こしてください。その後、**①**増連側板の右面に**⑥**ジョイントシャフトを回し入れてください。※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



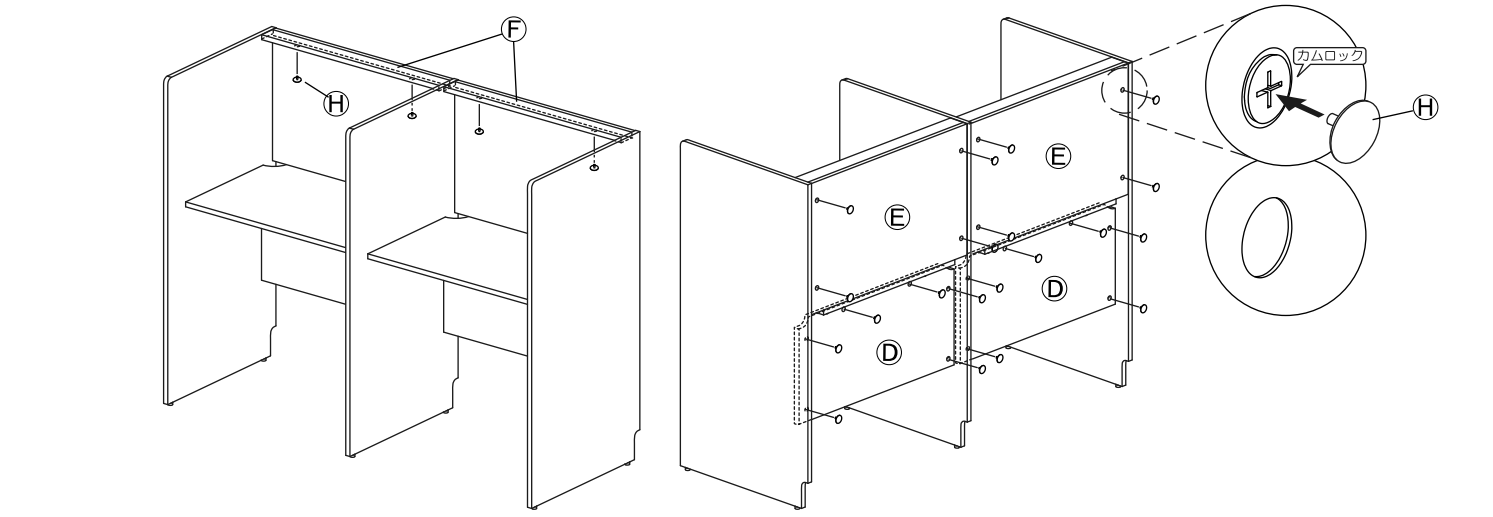
9 **①**増連側板の**⑥**ジョイントシャフトを**7** で組み付けた**③**天板・**④**幕板・**⑤**背板の横穴に差し込み、**③**天板・**④**幕板・**⑤**背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



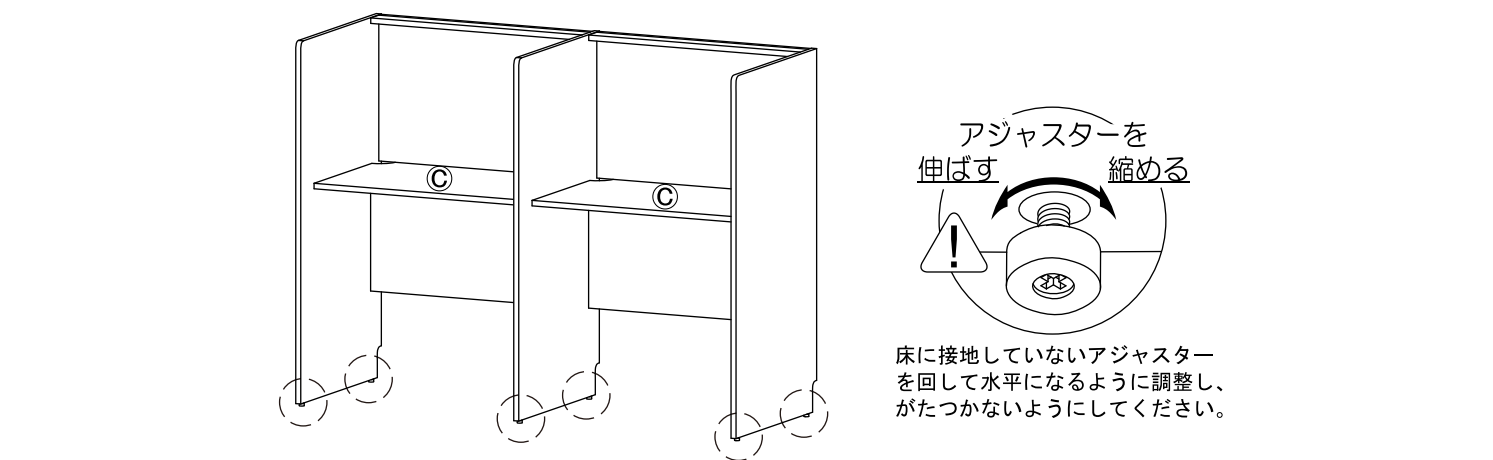
必ず1人が増連する側の本体を支えた状態で組み付けを行ってください。

(基本) 1台に対して複数台増連する場合は、増連第数分**6**～**9**の工程を繰り返してください。

10 全てのカムロックが締め付けられていることを確認し、**④**幕板・**⑤**背板・**⑥**貫板に**⑧**カムロックキャップを差し込んでください。



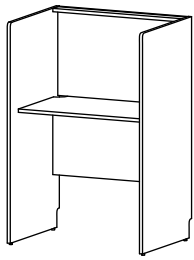
11 傾斜のない平らな場所に設置してください。
③天板が床と水平になるようにアジャスターを回して調整してください。



2 ケロコンセント (別売) 取付方法

NC-1529-W(B)

本体を完成させたあと、「2 ケロコンセント (別売) 取付方法」へ進んでください。

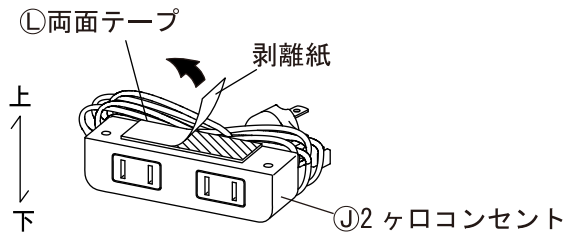


部材一覧

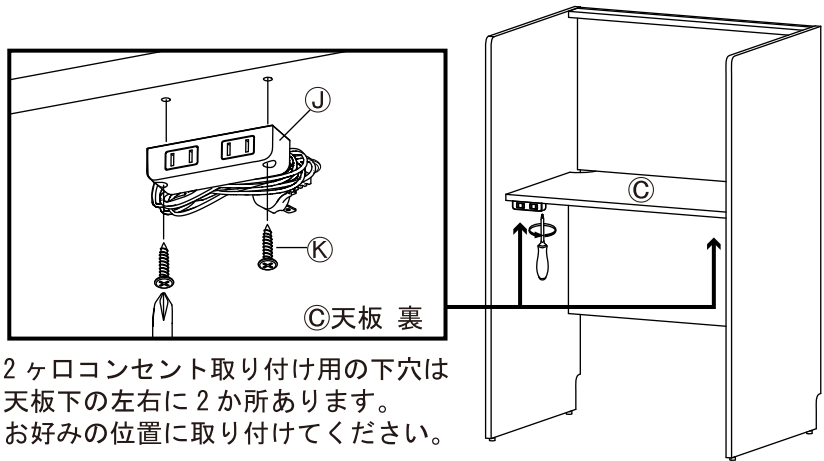
お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合はお電話にて部品名をご連絡ください。

㉠ 2 ケロコンセント ×1	㉢ 十字穴付き皿 タッピンねじ ×2 (M3×16)	㉡ 両面テープ ×1
上 ↓ 下 ㉠両面テープが貼付済み		 ㉡2 ケロコンセントに貼付済み

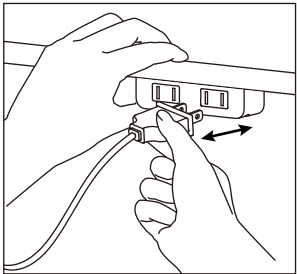
1 ㉡2 ケロコンセントに貼り付け済みの㉠両面テープの剥離紙をはがしてください。



2 ㉢天板の裏面に空いている下穴に合わせ、㉡2 ケロコンセント貼り付けます。その後、㉢十字穴付き皿タッピンねじで㉡2 ケロコンセントを組み付けてください。



2 ケロコンセント取り付け用の下穴は天板下の左右に2か所あります。お好みの位置に取り付けてください。



⚠ コンセントご使用上の注意

コンセントにプラグを抜き差しする際は、必ずコンセントと板面両方を抑えて水平に引き抜いてください。プラグを差し込んだ状態で上下左右に動かすとコンセントが外れ、板面から落下する恐れがあります。

⚠ 取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。破損の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する可能性があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲水をこぼした場合は放置せずにすみやかに拭き取ってください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー、アルコール等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



＜品質表示＞

外形寸法 (mm)	幅	奥行	高さ
RFPCB2-8060NA (WH)-1 (2)	800	600	1200
RFPCB2-8060ADNA (WH)	782	600	1200
耐荷重 (均等荷重)	約 40kg		
天板			
材質	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
甲板の表面材			

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208

⚠ 商品チェック

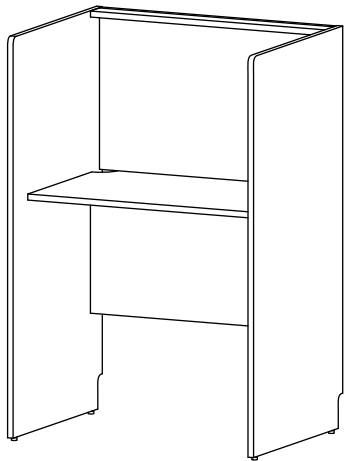
当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

☑ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- ☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- ☐ カムロックは正常に締結しているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- ☐ 側板・天板・幕板・背板に隙間はないか
…カムロックとジョイントシャフトが正常に締結されているかをご確認ください。
- ☐ 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。



その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	RFPC ブース 2 W800×D600
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	